

日時:2015年1月29日(木) 11:50~12:10

質疑応答 (※今年度: 2015年3月期、来年度: 2016年3月期)

Q: 企業ネットワークにおいて、受注高が増えて来ていますが、どのような分野が増えているのでしょうか。

A: 金融機関を含め、企業はICTシステムの強化を進めており、それに伴うネットワーク増強や、オフィス移転に伴うネットワーク工事などが増えています。

Q: 電機業界などでは、3Qに入り、2Qまでの好調な事業環境に少し変化が出てきたとの話も聞かれますが、NECネットエスアイの場合はどうでしょうか。4Qの状況は如何でしょうか。

A: 2Qまでよりもさらに良くなっているという訳ではありませんが、3Qも引き続き堅調に推移したと考えています。悪い方向に変化しているという事はないとの感触です。受注残の状況から、4Qの売上についても、順調と考えています。

Q: 消防・防災システム事業について、受注はピークアウトとの事ですが、売上についても今年度がピークとなるのでしょうか。

A: 売上についても、翌年度からの前倒しもあり、今年度がピークとなる見込みですが、来年度も比較的高い水準になると見えています。

Q: 消防・防災システム事業のピークアウトをカバーするような有望な分野として、どのようなものを期待しているのでしょうか。

A: 1つの大きな分野ではなく、複数の分野を幾つか積み上げてカバーしていく予定です。例えば、国の投資テーマの1つである国土強靱化関係として防災システム分野、2020年のオリンピックに向けた更なる通信ネットワーク増強など有望な分野があり、今後具体化を進めていきます。

Q: 過去行ったM&Aによる業績へのインパクトは来年度もあるのでしょうか。

A: 今上期までのインパクトであり、来年度には影響ありません。

Q: 原油安の影響はありますでしょうか。

A: 直接の影響はありません。原油安によって、お客様の業績が変化し、ICT投資に影響を及ぼす等、間接的な影響は考えられます。

Q: 来年度の業績は、消防・防災システム事業のピークアウトなどがある中、どのように考えていますか。

A: 現在、社内で検討中ですが、来年度は中期経営計画の最終年度であり、まずはその目標値である、売上高 2,900 億円、営業利益 160 億円が1つの目安となると考えています。